

還暦企業の新しい取り組み

笑顔とありがとうの

smile
and
thanks



有限会社仙洞田建築板金工業所は今年で創業60年を迎えた還暦企業です。先代の父の背中を追い、まわりの人の笑顔をつくるサービスを追及し続ける同社代表取締役の仙洞田茂さんは「5年後、10年後のお客様の笑顔とありがとうのために」と、今年11月、健康をつくる空間を新たにオープンさせました。どうして建築板金屋さんが「健康づくり」なのでしょう？その想いを聞いてきました。

ためにごきげんよう

地域とともに60年 地域に愛される職人さん

茅葺屋根職人は銅板・板金屋職人となり、
庭のリフォームも手がけるまでに



「笑顔とありがとうをたくさん集めて、お客様に忘れられない会社になる！」を経営理念に掲げる仙洞田建築板金工業所。昭和31年に屋根の板金屋として創業し、今年の9月で60周年を迎えました。



地域に愛される同社は公共施設から
神社・寺院の改修工事までも手がける

「物心ついた時から親方だった父。僕はずっと父の背中をみて育ちました」と話すのは、仙洞田茂さん。同社の2代目として、地域のの人に喜ばれるサービスを提供し続けています。

「父は職人だったので、仕事にはとても厳しい人でした。でも『会社を継げ』とは一度も言いませんでした」と仙洞田茂さん。そんな仙洞田茂さんが家を引き継いだのは28歳の時だったそう。周囲に慕われ感謝される先代を尊敬し、先代が築いた信頼関係を

崩さず、地域と手を取り合いながら色々な分野へと「お客様のためにできること」を増やしてきました。

親父の背中を追いかけて 2代目社長の想いと取り組み

先代が会社を仕切っていた最初の40年は板金工事をメインに引き継いでからは、住宅リフォームをメインに地域密着の姿勢はそのままだ。暮らしの中の小さな小さな悩みも解決すべく、細かい部分も親切丁寧に対応してきました。

「リフォーム屋はサービス業なんです」と仙洞田茂さん。家の中に入って仕事をするとリフォームの仕事は、デリカシーやお客様への配慮、コミュニケーションの力を問われる仕事でもあります。先代から受け継いだ「人に喜んでもらうことを第一に考えるスタンス」で「ちょっと〇〇したいんだけれど」の要望にも快く答え、「ありがとう」と言われる存在であるイメージをより高めていきました。

「うちの職人さんは多能工です」と誇らしげに話す仙洞田茂さん。お客様に感謝し、スタッフを自慢できる懐の深さがあったからこそ、周囲に愛される理由なのでしょう。

10年後の笑顔のために 健康こそ幸せのカギ

仙洞田建築板金工業所は、11月に60周年記念事業として「抗酸化陶板浴酸化還元洞」という健康サロンをオープンしました。どうしてリフォーム屋さんが健康サロンなのでしょう。その理由を尋ねてみると、このような答えが返ってきました。

「5年後、10年後に、お客様から笑顔とありがとうをいただくためです」地域に愛され、支えられて60年間歩んできた同社。利用者の声を集めたところ「健康」にまつわる関心が高く、何ができるかと考えた結果だったと言います。

オープンしたサロンは、抗酸化溶液を吹き付けた珪藻土の壁に包まれる空間で、陶板浴のベッドに横になり体をじんわりと温め、リラクゼーションしながら免疫力を高めることができます。そうなんです。



時代に合ったリフォームや
太陽光発電システムの設置も引き受ける



11月にオープンした健康サロン
「抗酸化陶板浴酸化還元洞」

